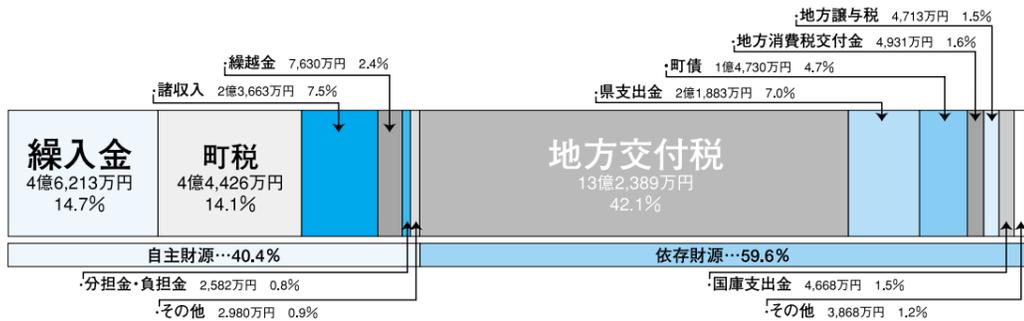




# 決算・平成17年度の旧菊水町の家計簿

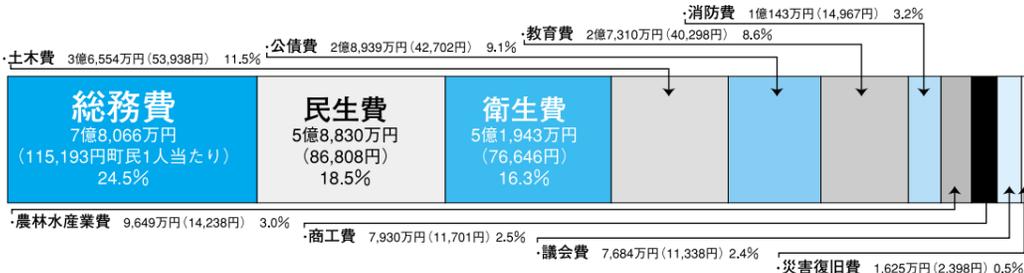
一般会計の収入総額は、31億4,676万円となっています。収入は、「自主財源」と「依存財源」に分けることができます。自主財源は、町税や使用料・手数料、財産収入、繰入金、諸収入など町が独自に収入できる財源で、平成17年度では、40.4パーセント、総額12億7,494万円でした。このうち、町税は14.4パーセントの4億4,426万円と、2万円でなっています。依存財源は、地方交付税（全国にある各市町村の財政力のバランスを取るために国から配分されたお金）、国や県からの交付金、町債（道路や公園、学校など）、町が行う建設事業などの資金を調達するために国などから借り入れるお金などで、収入全体の59.6パーセントを占めています。このうち、町の収入の約4割を占める地方交付税は、合併後、3月に交付されたものもあり、1億6,619万円減少しています。また、町債は1億4,730万円となっています。基金（各種事業の目的のために積み立てたお金）は、財政調整基金2億円、減債基金1億円の合計3億円を年度間の財源の調整等のため取り崩しています。

## 財政調整基金、減債基金の2基金から3億円を取り崩し。地方交付税は、三位一体の改革によりやや減少。



旧菊水町では、どんな仕事にお金が使われたのでしょうか。一般会計の支出総額は31億8,673万円となっています。支出は、使われるお金の目的によって総務費や民生費、衛生費など12項目に分けられています。このうち最も大きな割合を占めているのが総務費（町の全般的な事務経費と庁舎管理や広報選挙統計、住民票などの事務経費）です。平成17年度では、役場庁舎及び公民館の非常用電源整備に5,935万円、合併に伴う電算システム構築作業など合併準備費に2億7,195万円を使い、また、人材育成基金を廃止し財政調整基金へ5,234万円を積み立てました。民生費（社会福祉や障害者、高齢者、児童福祉などに係る経費）では、国民健康保険事業会計へ1億3,360万円、介護保険特別事業会計へ1億8,166万円、老人保健特別会計へ6,861万円を繰り出しました。このほか衛生費（環境衛生、ごみやし尿処理など）に係る経費では、有明広域行政事務組合負担金として1億8,119万円、一般ごみ収集業務委託に7,544万円を使い、また、病院会計へ1億5,000万円を繰り出しました。

## 平成17年度全4巻のうち1巻発行の菊水町史。人材育成基金を廃止し財政調整基金へ積み立て。



支出グラフ中の( )内は、町民一人当たりの額で、平成18年2月28日現在の人口(6,777人)で算出しています。

旧菊水町特別会計決算			
会計別	歳入額	歳出額	差引額
国民健康保険事業会計	6億2,781万円	6億623万円	2,158万円
老人保健特別会計	7億8,838万円	7億9,819万円	△981万円
簡易水道事業会計	4,767万円	3,408万円	1,359万円
特定地域生活排水処理事業特別会計	3,309万円	6,391万円	△3,082万円
奨学金会計	1,224万円	568万円	656万円
訪問看護ステーション事業	5,022万円	1,083万円	3,939万円
工業団地造成事業特別会計	481万円	0	481万円
住宅用地造成事業特別会計	844万円	477万円	367万円
介護保険事業会計	6億8,954万円	6億3,841万円	5,113万円
特別養護老人ホーム計	4億5,413万円	4億2,789万円	2,624万円
国民健康保険計	7億8,972万円	8億2,276万円	△3,304万円
下水道事業会計	2億2,658万円	4億1,859万円	△1億9,201万円



# 決算・平成17年度の和水町の家計簿

基本的には、旧町での事業は旧町で収入及び支出を済ませていますので、平成17年度和水平成17年度の決算は、3月のひと月の決算となります。一般会計の収入総額は、17億7,555万円となっています。うち地方交付税交付金は2億5,233万円と、2億5,233万円と、旧菊水町、旧三加和町及び和水町での地方交付税交付金の総額は28億7,989万円（対前年度比2.1%の減）となっています。

▲開庁式の様子。和水町誕生。

## 平成17年3月1日に和水町が誕生。和水町平成17年度決算はひと月のみ。

